

固定焦点ドーム型同軸カメラ

CCE3CDF1 **屋外用** 保護等級 IP67 相当

固定焦点バレット型同軸カメラ

CCE3CBF1 **屋外用** 保護等級 IP67 相当

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書は基本的な設定のみ記載しております。詳しい内容については、
巻末の QR コードより詳細設定ガイドをご覧ください。

(注) この製品は犯罪防止システム品ではありません。空き巣、強盗、変質者の侵入等の犯罪による
損失、損傷等が発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

■安全上のご注意 お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを
説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	警告	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど 重大な結果に結びつく可能性があるもの		注意	誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの 損害に結びつく可能性があるもの								
	一般的な 注意事項		一般的な 禁止事項		水ぬれ 禁止		機器の 分解禁止		接触禁止		ぬれ手 禁止		指示を 守る

警告 **異常があるときは、すぐに
使用をやめる**
次のような異常時は、放置せずに電源を
切り、販売店・工事に連絡してください。
◇煙がでる、においがする
◇内部に水や物が入った
◇画面が映らない
◇接続ケーブルや外部が劣化
火災、感電、けが、故障の原因となります。

警告 **次の場所に設置しない**
◇強度の不足する場所、
不安定な場所
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となり
ます。
◇人や車両の通行の妨げになる場所
ぶつかったり、接触してけがや破損の原因とな
ります。
◇直射日光の当たる場所、熱器具の付近
や高温になる場所、湿気やホコリの多い
所
火災や感電、故障の原因となります。
◇塩害や腐食性ガスが発生する場所
取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障
の原因となります。
◇可燃性ガスの雰囲気中
爆発によるけがの原因となります。

警告 **結露した状態で使用しない**
故障の原因となります。
電源を止め、結露がとれた後に電源供給し直し
てください。

注意 **お手入れのご注意**
本体の汚れは、市販のクリーナーや
ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わ
ず、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
樹脂が溶けたり、変形したり、変質、変色す
ることがあります。

警告 **指定以外の機器・アクセサ
リは使用しない**
指定品を確かめ、使用機器の取扱説明書もよく
お読みください。
性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原
因となります。

警告 **設置、点検時は次のことに
注意する**
◇設置・配線・点検時は電源を切ってから行
なってください。
感電やショート・誤配線による火災の原因とな
ります。
◇足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧
などの天候が悪い日や暗い所では、危険
ですから設置工事や点検をしないでく
ださい。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
◇本体や部品、工具類を落としたり、強い
衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。
◇ケーブル類は正しく配置してください。
引っ掛けると落下や転倒によるけがや故障の
原因となります。
◇組み立てや取り付けのネジやボルトは、
締め付け力(トルク)指定がある場合は
その力(トルク)で締め付け、堅固に固定
してください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
◇台風の後や積雪の後などは、取付装置に
緩みや異常が生じることがあります。
点検はお買い上げの販売店または工事店に
ご相談ください。そのままにすると破損して、
けがや故障の原因となります。
◇カメラや取付装置などに乗ったり、無理
な力を加えないでください。
落ちたりして、破損、けがの原因となります。

警告 **無理な力を加えたり傷つけ
ない**
接続ケーブルなどを傷つけたり、加工し
たり、無理に曲げたり、ねじったり、重いも
のをのせたり、加熱したり(熱器具に近づ
けたり)、引っばったりしないでください。
電源ケーブル、同軸ケーブルなどが傷んだとき
は(心線の露出、断線など)お買い上げの販売店
もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのま
ま使用すると火災・感電などの原因となります。

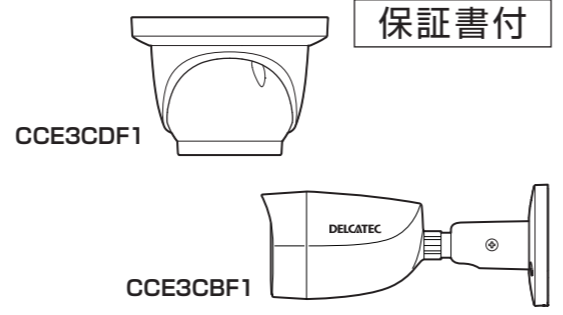
警告 **ぬれた手でさわらない**
感電の原因となります。

警告 **分解や改造はしない**
内部の分解、改造や修理はしないでくだ
さい。故障の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご相談
ください。

警告 **雷が鳴り出したら本機や
接続ケーブルに触れない**
感電の原因となります。

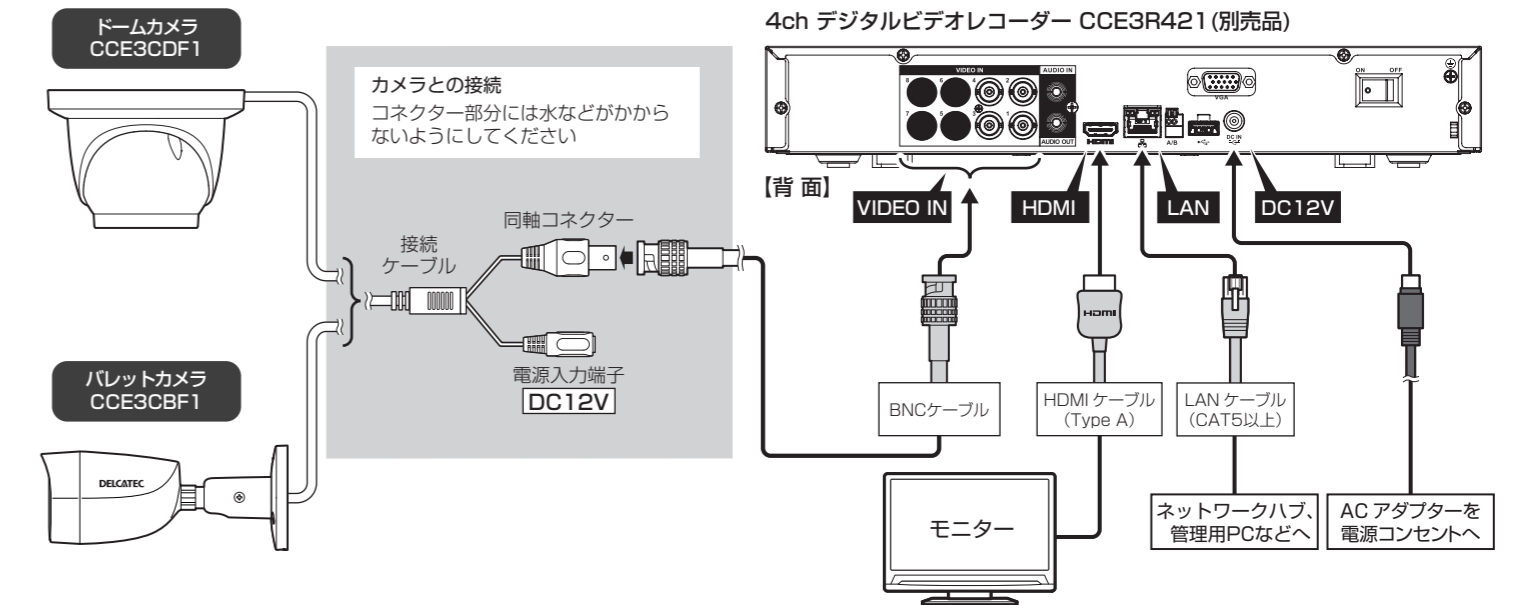
注意 **工事に関しては工事店など
に依頼する**
工事には技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店や工事店にご依頼く
ださい。
火災、感電、けが、故障の原因となります。

警告 **定期的に点検する**
取り付けが緩んだり、取付装置やネジ
がさびると、落下による破損、けがの原因とな
ります。



- 付属品**
- ・取付ネジ ×3本
 - ・コンクリートアンカー ×3本
 - ・取扱説明書 ×1部

■接続のしかた (接続例)



■防水要件

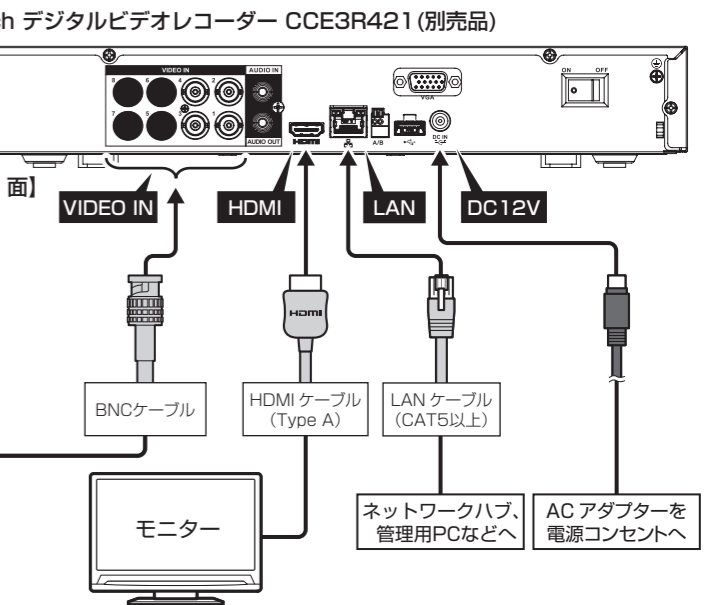
ケーブルは以下の手順で防水処理を行ってください。
不十分な防水処理が原因で装置が破損した場合は、使用者がそ
の一切の責任を負うものとします。

memo

- はじめに、必要なケーブルをすべて接続します。
- 防水粘着テープでケーブル末端部や接続部を保護してください。
電源入力端子・電源出力端子を使用しない場合は、各端子を防水
処理してください。

1 防水粘着テープでの保護のしかた

- 同軸コネクタの凸部を、同軸ケーブルの凹部に合わせて奥まで差し
込みます。
- 同軸ケーブルの接続ナットを矢印の方向に止まるまで回して固定します。
- コネクタの末端から3cm程度手前のところから防水粘着テープ
を巻き始めます。
- 反対側のコネクタ末端から3cm程度のところまで巻き終わったら、
そこから約2cm程度折り返して巻いてください。



5. (オプション)防水処理が完了したら、ケーブルを防水ジャンク
ションボックス(別売)に入れます。

ご注意

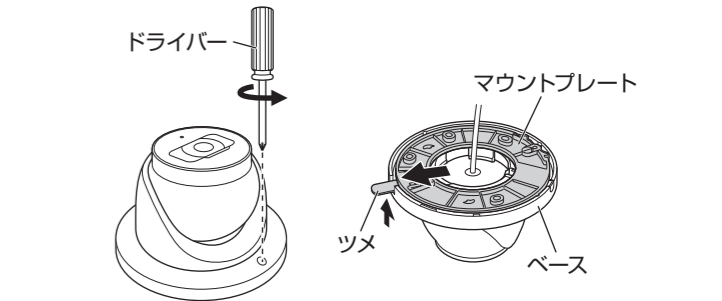
- ケーブルコネクタは露出させず、水に触れないようにしてください。
- 装置を取り外した後は元に戻して固定してください。
- 電源アダプターを配電ボックスに入れてください。

■設置のしかた

1 (ドームカメラのみ) マウントプレートをはずす

本機を設置する前にマウントプレートをベースから外します。

- ドライバーで下図位置のネジを緩めてから、本体底面を上側にし
ます。
※ネジはドームハウジングからはずれません。
- マウントプレートのツメを少し上に持ち上げながら、マウントプ
レートを矢印の方向にスライドさせると本体からはずれます。
※マウントプレートがあらかじめはずれている場合は、**カメラ**
の設置に進みます。



memo 設置されたドームカメラをはずす場合

- ドライバーで右図位置の
ネジを緩めます。
※ネジはドームハウジ
ングからはずれません。
- マウントプレートのツメ
を少し上に押し上げなが
らカメラ本体を矢印の方
向にスライドさせます。

2 カメラの設置

以下は壁面取り付け、または天井取り付けの場合の設置例です。取り付け面に、カメラの重量を支える強度が十分であることを確認してください。また、ドリル等の工具類は事前に用意してください。

天井取り付けの場合

1. カメラを取り付ける位置を決め、マウントプレートを天井にあてがい、穴位置をマークします。

※必要に応じてベースの切り欠きにケーブルを通して配線してください。

2. マークした穴位置に、φ6～6.5mmのドリルで30mmの深さのガイド穴を明け、コンクリートアンカー3本を穴に打ち込みます。しっかりと固定されていることを確認します。

3. 穴位置に合わせてマウントプレートを天井にあてがい、取付ネジ3本でマウントプレートをドライバーで締めつけて固定します。しっかりと固定されていることを確認します。

4. カメラを取り付けます。天井とカメラのすべてのケーブルを接続し、マウントプレートの凸部とベースの凹部を合わせて差し込み、天井に押し当てます。その後ツメの方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせ、カメラを固定します。

※必要に応じてベースの切り欠きにケーブルを通して配線してください。

5. レンズの方向を調整します。

水平方向に調整する場合は、レンズベース部分を回転させます(①)。

垂直方向に調整する場合は、レンズユニット部の角度を調整します(②)。

映像の上下方向が正しくなるようレンズユニット部を回転させます(③)。

ご注意

- レンズベースやレンズユニットが回らなくなったら回転を止めてください。無理に動かすとレンズや可動部が損傷する可能性があります。

6. 位置が決まったら、右図の位置のネジを締めて固定します。

7. カメラの電源を入れ、画像を確認の上、角度や方向等を調整してください。

壁面取り付けの場合

1. 取り付け位置の中央付近に穴を開けて穴にケーブルを通したらベースを壁にあてがい、穴位置をマークします。

2. マークした穴位置に、φ6～6.5mmのドリルで30mmの深さのガイド穴を明け、コンクリートアンカー3本を穴に打ち込み、しっかりと固定されていることを確認します。

3. コンクリートアンカー3本をガイド穴に打ち込み、しっかりと固定されていることを確認します。

4. カメラを壁面に取り付ける前に、調節ネジをドライバーで緩め、ネジで固定しやすいようにカメラの角度を調整します。
※詳細なカメラ角度の調整は、カメラ固定後、手順6でおこないます。

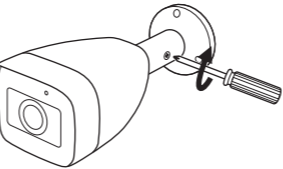
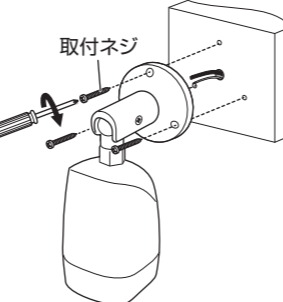
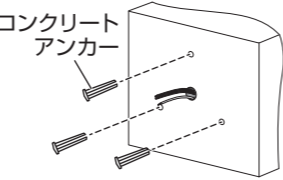
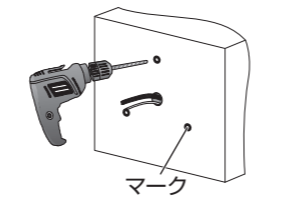
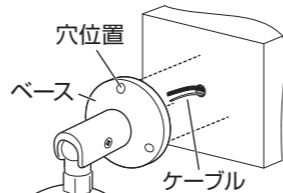
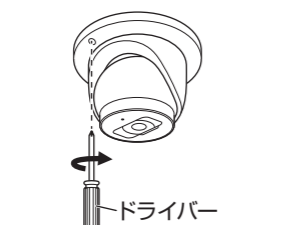
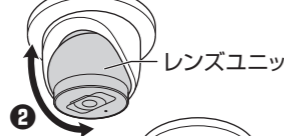
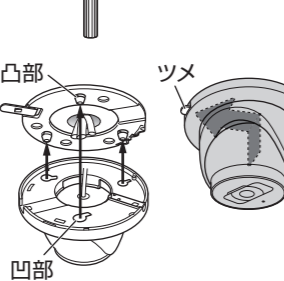
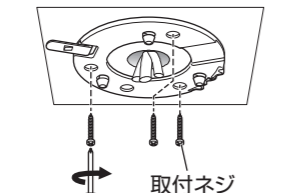
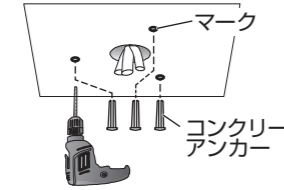
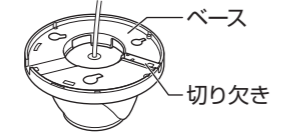
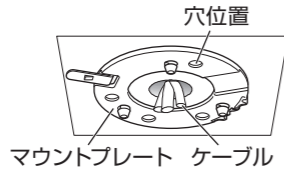
5. すべてのケーブルを接続し、カメラを壁面に取り付けます。取り付け用の穴位置とベースの穴位置を合わせて、取付ネジ3本をドライバーで締めつけて固定します。

6. カメラの方向を調整します。

1) 調節ネジを緩めると、マウント軸、カメラ本体の角度・方向、カメラ本体を回転させることができます。
※マウント軸は回転させる際、動きがやや固い場合があります(回転させるとカチカチとクリック感があります)。

2) カメラを目的の監視方向に向け、調整した角度や方向がずれないように注意しながら、調節ネジをしっかりと締めつけます。

7. カメラの電源を入れ、画像を確認の上、角度や方向等を調整してください。



■規格特性

(規格および仕様は改良により、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。)

品名	固定焦点ドーム型同軸カメラ	固定焦点バレット型同軸カメラ
型番	CCE3CDF1	CCE3CBF1
撮像素子	1/2.8" CMOS	
有効画素数 (Pixel)	最大1920×1080	
最低被写体照度 (Lux)	赤外線LED OFF時: 0.02(F1.9)、30IRE / 赤外線LED ON時: 0	
シャッター速度 (s)	PAL:1/25~1/100000、NTSC:1/30~100000	
レンズ (mm)	2.8	
画角 (°)	101	
DAY & NIGHT	自動	
映像出力	最大1920×1080 (30)	
S / N 比 (dB)	65以上	
赤外線照射距離 (m)	最大 60	最大 30
防水/防塵性能 (保護等級)	IP67	
電源 (V)	DC 12 ±30% PoC	
消費電力 (W)	最大 4.9	最大 2.8
使用湿度範囲 (%RH)	0 ~ 90 (結露なきこと)	
使用温度範囲 (°C)	-30 ~ +60	
寸法 (mm)	φ122×94.5	70(H)×70(W)×165.5(D)
質量 (kg)	約0.43	約0.33

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

本製品の詳細設定については、下記のWEBサイトをご覧ください。
<https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualimg/CCE3CDF1.pdf>



製品に関するお困りごとを解決!

DXサポ!

スマートフォンで各種設定方法がわかる

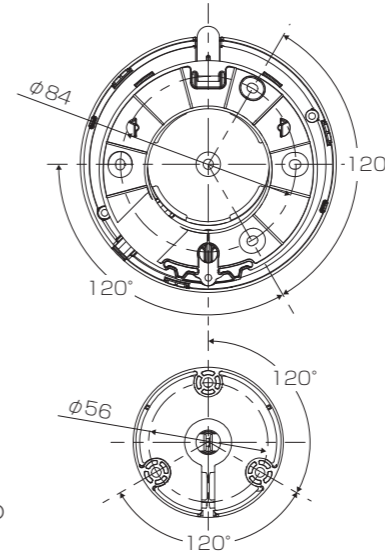
ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。QRコードからアクセスしてください。



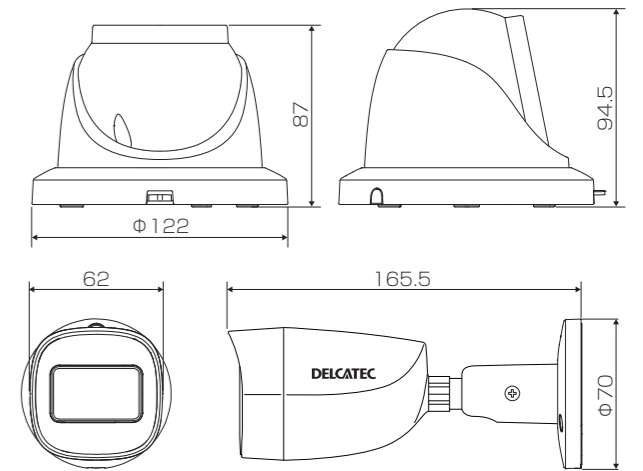
■外形寸法図

(単位: mm)

ドームカメラ
CCE3CDF1



バレットカメラ
CCE3CBF1



※ この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

■保証書

(2106-02-00)

■保証期間

製品の保証書または購入日が確認できる購入証明書(レシート、納品書など)に記載されている購入日より1年間、本製品を本規定に従い無償修理をすることを保証いたします。※消耗品は除く

保証期間
1年間

■無償修理

保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。

■適用の除外

- 次のような場合には保証期間中でも有償修理となります。
- ① ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ② お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③ 火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争、暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害または、ねずみや昆虫、鳥などの動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - ④ 塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑤ 用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。
 - ⑥ 製品の保証書または購入日が確認できる購入証明書(レシート、納品書など)を提示、添付されていない場合。
 - ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - ⑧ 譲渡品、転売品または中古品として本製品をご購入された場合。(リサイクルショップでの購入、オークション購入での中古品を含む)
 - ⑨ その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■免責

- ・データを取り扱う際はバックアップを必ず取って下さい。製品の故障または使用によって生じた、保存データの消失、破損等については一切保証いたしません。
- ・本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- ・本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■その他

- ・保証書の再発行は行いません。
- ・修理で交換された故障製品および故障部品の所有権は、弊社へ帰属とさせていただきます。
- ・製品修理にかかる付帯費用(運賃、設置工事費、人件費)については、弊社は一切の費用負担を行いません。
- ・有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしません。
- ・記憶媒体が搭載された製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化いたします。記憶媒体が搭載された製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。
- ・同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と、交換させて頂く場合があります。

■有効範囲

本保証規定に基づく保証は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

お買上年月日	ご販売店	ご住所・ご店名
年 月 日		
		電話 () -

カスタマーセンター
0570-033-083
 土・日・祝日もご利用ください!
DXアンテナ株式会社
 6120

※全国一律料金でご利用いただけます。
 ※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
 ※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。
 ※一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合があります。
 受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)
 ホームページアドレス
<https://www.dxantenna.co.jp/>

(1908)